



野田中だより

入間市立野田中学校学校だより No.12

令和7年3月24日発行



第35回 卒業証書授与式 式辞（一部）

私がこの卒業生を表現するとしたら「他者をいたわり、皆とともに歩もうとするやさしさを持ち、また、何事にも全力で取り組み、学校をリードする力強さの両面を持ち合わせた学年」と思っています。例えば、「受験は団体戦」の言葉通り、早く進路が決定した生徒が、これから受験する生徒を気遣うように、お互いを励まし合い、ともに歩むことができました。また、学校行事を通して、常に下級生に手本を示し続けてくれました。体育祭では下級生をしっかりとリードし、高い完成度で演じた応

援合戦、下級生とは圧倒的に違う迫力と歌唱力で上級生としての貫禄を示した音楽会など、まさに、学校の顔として誇れる存在でした。

さて、今日の卒業式は、人生の大きな節目であり、新しいスタートラインに立つ記念すべき日です。今日の輝かしい門出に際し、皆さんには、新鮮な気持ちで新しい一步を踏み出してもらいたいと思い「ファーストペンギン」の話をします。

「ファーストペンギン」というのは、群れの中で最初に海に飛び込むペンギンを指す言葉です。南極に暮らすペンギンは、隊列を組んで氷の上を移動したり、エサの魚を囲い込んで捕まえたり、群れて固まって行動しますが、特定のリーダーはいないそうです。例えば、危険が迫ったとき、いち早く気づいた一羽の後に続き難を逃れます。つまり、最初の一羽に従うのが大きな特徴です。

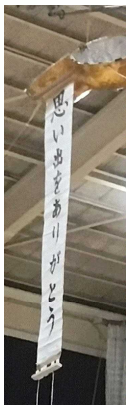
陸で育ったペンギンは親ペンギンから海に入ることを教わります。ところが、大きな波が打ち寄せる海の中には、シャチやトド、オットセイなどの肉食獣が大きな口を開けて待ち構えており、多くのペンギンは怖くてなかなか入ろうとしません。そのとき、一匹のペンギンが「我に続け」とばかりに勢いよく海に飛び込みます。そうすると後に続くように次々と仲間の幼いペンギンが飛び込み、餌にありつけるといことです。アメリカでは、このように勇気を持って未知の世界や仕事に飛び込むことを「ファーストペンギン・スピリット」というそうです。

皆さんはこれまで「あの時、勇気を出して一歩踏み出しておけばよかった」と思う場面が一度や二度はあったと思います。または、「このままでいいや」と、いつも通りの生活を繰り返していると、改善や進歩はありません。これから、いろいろな場面において「ファーストペンギン」に負けなくらい勇気を持って、たくさんの方に一歩を踏み出してください。ときには、我慢が必要なきがあるでしょう。辛抱強く我慢して、ようやく少しずつ前進する場面もあるはずです。ときには、今までの振り返り、修正する必要もあるでしょう。自分を見つめ直すことで前進する場面もあるはずです。

未来は3つの名前を持っているといわれています。弱者にとっては「不可能」、臆病な者にとっては「未知」、勇気ある者にとっては「理想」という名前です。失敗は終わりではありません。あきらめたときに失敗になるのです。勇気を持って、多くのことに一歩を踏み出してください。そして、今まで以上に自分を高め、「将来の夢」の実現に近づけてほしいと願っています。

3年生を送る会

3/5(水)に野田中学校三大行事の一つである「3年生を送る会」が開催されました。生徒は、限られた時間の中、今まで準備を進めてきました。在校生一人ひとりが、3年生への感謝の気持ちを込めた飾り付けやメッセージ、趣向を凝らした劇やダンス、合唱などを披露しました。笑い涙ありの感動的なひと時を過ごすことができました。当日は、多くの3年生の保護者も参観に訪れ、一緒に楽しみました。



3送会続き



最高の幸せとは？～貢献できる幸せ～（全校朝会より一部）

鍵山秀三郎さん(イエローハット創業者)が、「幸せには3つの方程式がある」と述べています。

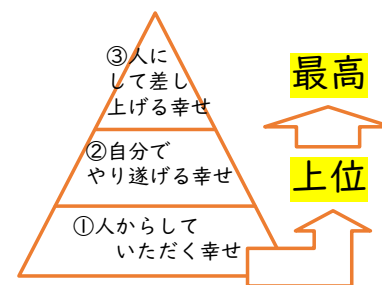
1つ目の幸せは「人からしていただく幸せ」です。例えば赤ちゃんはお腹が空けば泣き、おむつが濡れれば泣きます。それを聞いて親御さんがミルクをあげたり、おむつを取り替えたりします。そうすると赤ちゃんはとても幸せを感じます。1つ目の幸せは、誰かに助けてもらうことで感じる幸せです。

2つ目の幸せは「自分でやり遂げる幸せ」です。例えば逆上がりができるようになった。野球が上手になった。ピアノが上達した。英語の検定試験に合格した。富士山の登頂に成功した。このように、今までできなかったことができたり、目標を達成すると幸せを感じます。2つ目の幸せは、どれも自分が努力し頑張り、結果が得られることで感じる幸せです。

3つ目の幸せは「人にして差し上げる幸せ」です。人がしてほしいことや困っていることを察して、協力したり支援すると相手は喜び感謝します。人が喜んでくれることで自分も幸せを感じます。このように、3つ目の幸せは、人の喜びを共有することで感じる幸せです。

これらを比較すると、1つ目の「人からしていただく幸せ」より2つ目の「自分でやり遂げる幸せ」の方が上位にきますし、さらに3つ目の「人にして差し上げる幸せ」が最上位にくることは理解できるでしょう。本校の学校教育目標は「自主・自立・貢献」です。この3つの中で「自主」は「自ら目標を立て行動する」ので、2つ目の「自分でやり遂げる幸せ」に当てはまります。「自立」は「他者と適切に共存できる」なので、2つ目と3つ目の両方に当てはまります。「貢献」は「他者の力になる」なので、3つ目に当てはまります。

今年も3年生には面接練習を実施しました。そのとき、必ず質問したのが「将来の夢」です。皆さんは中学生ですから、現時点で明確に答えられないかもしれませんが、今後、変更してもかまいません。大切なことは、自分が将来何をしたいのか、何がしたいのかを考えることです。そして、考えるときに大切にしてほしいことは「誰かの、また、社会の役に立っているか」いわゆる「貢献」できているか、という視点を持つことです。先ほどの幸せの方程式の3つ目「人にして差し上げる幸せ」が最上位の幸せですから、皆さんが将来、誰かや社会に貢献できることが、最高に幸せな人生を送ることにつながります。例えば、小さい子の面倒を見るのが好きならば、そこから貢献できることを考えてみてください。例えば、料理を作ることが好きならば、そこから貢献できることを考えてみてください。好きなこと、得意なことを考えることは楽しいことです。さらに、好きなことを伸ばすためには勉強も必要です。今学んでいる勉強を頑張ることも大切になります。



最後に 私が本校の校長として3年前に着任してから、保護者を含めたこの地域の方々の、地域に対する熱い思いと、学校に対して様々な面からバックアップしてくださる温かい姿勢を感じていました。35年間という長い年月の間、本校は決して平たんな道のりばかりではなかったはずです。私が想像するに、本校開校以来、ずっと温かく見守っていただけたと感じています。その意味から、今回の閉校式は35年間お世話になった地域の方々への感謝の気持ちを表せたらという想いもありました。

さて、2月に閉校記念表示を正門前の歩車道ブロック上に取り付けました(右写真)。今は校名が野田中で、校舎もありますので、実感はないかもしれませんが、5年後、10年後にはもしかしてこの校舎はなくなり、別の建物が建っているかもしれません。そうなる初めて、この記念表示の意味が大きくなると思います。ぜひ、大切にしてください(この上に乗ったり、座ったりしないでくださいね)。

野田中はこれをもちまして閉校となりますが、これまで以上に新西武中学校をよろしくお願いいたします。この統合を学校、生徒、保護者、地域の方々の力で一丸となり、生徒たちにとってさらなる飛躍につなげられるようご理解ご協力をお願いいたします。最後になりますが、改めまして、本校に対する今までのご支援に感謝申し上げます。ありがとうございました。

